土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　三篠川　災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その4）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　河川　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.6	調査位置	広島市安佐北区白木町			北緯	34° 34' 17.2800"
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和2年 5月12日～ 令和2年 5月13日	東経	132° 40' 05.2100"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 130.46m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0
総削孔長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD-10型	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	130.16	0.30		シルト質砂		茶灰			細砂主体。φ1～4cm程度の円礫混じる			47	1.15	9	20	18	47/300			1.15	P-6-1	㊀	比重 含水 粒度	5/12
	128.96	1.50		砂礫		茶灰	rd3		φ1～4cm程度の亜角礫主体。砂は中～粗砂主体。下方ほど礫増加する。				1.45							1.45				
2	128.61	1.85		玉石混じり砂礫		茶灰			φ3cm程度の礫およびL=5cm程度の硬質な玉石よりなる。			50以上	2.00	貫入不能			50/0							
3				流紋岩		青灰			CM級流紋岩。層上部はやや風化しており，約5cm間隔で亀裂が入っている。岩片は硬質である。GL-2～3m間に方解石脈がしばしば確認される。GL-3.1m以深で亀裂間隔が5～15cm程度とやや広くなる。			50以上	3.00	貫入不能			50/0							
4												50以上	4.00	貫入不能			50/0							
5	125.46	5.00										50以上	5.00	貫入不能			50/0							5/13
6																								
7																								
8																								